

# ふるさと上越

## ネットワーク

NO. **11**

2001年8月15日発行

●発行  
ふるさと上越ネットワーク事務局  
(上越市東京事務所内)  
〒100-0012  
東京都千代田区日比谷公園1-3  
市政会館5階  
TEL. 03-3503-1521  
FAX. 03-3503-1522

この情報紙は

- ふるさと上越が好き!
- ふるさと上越との交流を深めたい!
- ふるさと上越にゆかりのある人  
たちと交流の輪を広げたい!
- ふるさと上越の発展の役に立ちたい!  
…そんな、あなたにお届けしています。

### contents

Jネット総会	1
Jネット総会より 宮越馨市長講話	2~3
Jネット懇親会	4
思い出の風景は今、はつらつグループ紹介	6
母校は今	7
イベント情報、ふるさとの味、まちづくりへの参加	8

【情報お待ちしています】 TEL.03-3503-1521



▲総会の様子

## 平成13年度ふるさと上越ネットワーク総会開催

# Jネット総会 全国から会員集合

5月26日(土) 於: アルカディア市ヶ谷(千代田区九段北)

5月26日、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段北)において、会員約100名が参加し、平成13年度ふるさと上越ネットワーク総会が開かれました。

総会ではまず太田会長から「平成9年に発足以来5回目の総会を迎え、会も骨格が固まってきた。20世紀はハードの時代だったのに比べ新世紀はソフトの時代。今こそ同じ風土に育った人たちが同じ言葉で話し、感じあうことが意義のあることだ」と思う。



▲新監事 福田 裕さん  
▲新相談役 野口 春雄さん  
▲新副会長 尾崎 宗秀さん

会員の増強については、今年の目標は1,200人。会員の皆さんから同窓会や団体を通じて、会をPRしたり、口コミで勧誘をお願いしたい」と挨拶がありました。

続いて、平成12年度事業報告、決算報告、平成13年度事業計画、予算について審議され、役員改選も含め、全ての議案が承認されました。

ひきつづき宮越市長から講話があり(次ページに詳しく掲載)、その後の意見交換でも活発な意見が出されました。

### 平成13年度事業内容

#### ◆会員募集事業

- 会員目標 1200人
- (1) 平成12年度会員の継続加入
  - (2) 新規会員の募集
  - (3) 複数年会費前払い制度の創設

#### ◆広報事業

- (1) 「広報じょうえつ」の配布(月1回)
- (2) 「Jネットだより」の発行(月1回)
- (3) 「Jネット会報」の発行(年2回)

#### ◆交流事業(第5回ふるさと交流探訪会)

- (1) 時期 9月29日(土)~30日(日)
- (2) 参加者 50人
- (3) 内容 上越市発足30周年記念事業・小林古径展特別観覧、高田公園桜記念植樹ほか

#### ◆総会開催事業

- (1) 総会:平成13年5月26日(土)アルカディア市ヶ谷
- (2) 運営委員会:毎月第2水曜日
- (3) 理事会:5月、平成14年1月

#### ◆Jネットサロンの開催

- (1) 東京事務所会場  
毎月第2水曜日、東京事務所にて、参加費1,000円、参加見込人数250人
- (2) 地区別会場  
平成12年度に開催した長野・関西などの地区別サロンの自主開催を支援

#### ◆ふるさとのまちづくり支援

各委員会委員などへ就任

# はばたく上越市

〈宮越馨上越市長〉

市長より、決意表明という意味も含めながら、会員の皆様に対してここ1年間の上越市の変化を中心にお話いただきました。



▲熱く語る市長

## ■行政改革総合1位に

私共のふるさとである地方においては、まさに地方からの国づくりという視点で、自立的なあるいはまた自治体経営という感覚の中でしっかりとした理念を持って運営していかなければならぬと思います。私共はもうすでに、ずっと前から

地方分権時代を迎えるためにいろいろな努力をしてきました。

改革ということが今クローズアップされておりますが、私共上越市は市民のご理解をいただきながら、これまで市の職員が心血を注いで改革の理念に基づいて取り組んで参りました。その結果、昨年の暮れ頃に日本経済新聞社が発表

した全国671プラス東京23区694の自治体の「都市の行政改革度ランキング」で、上越市は見事総合第1位でした。開かれた市政、新しい視点で改革をしようと努力をしてきた結果でしょうか。環境問題、ISO14001を取得したことが大変高い評価をいただいております。もうすでに全国の自治体195自治体がISOを取得しております。これは構造的改革にもつながるわけですから、評価された要因の一つであると思います。

また、副市長制をはじめ、いろいろな行政のシステムを変えてまいりました。自治体経営として権限の責任を明確にしなが、「安・近・短」行政、コストを安くしサービスをよくする、そして市民に距離をおかないということ、スピーディーにやると

いうことをしっかりと理念づけてやっていこうということが高く評価されたのではないかと思います。

## ■全国から視察ラッシュ

最近では少子高齢化対策ということで、少子化についてもいろいろな児童福祉を試みております。最近では、「三世交代流プラザ」をつくり、大好評をいただいております。そして3月に市民全体の交流の場「市民プラザ」をつくらせていただきました。



▲市民プラザ(土橋)

これは財政構造改革で必要な分野であるPFI手法を用いたものであります。その中では子どもセンター、国際交流センター、環境情報センター、ボランティアセンター、民間のスポーツジ

ム、レストランなど色々な施設が取り揃えてあります。まさに多機能施設であります。東京やその近郊におられますと、こんな贅沢なものはおったかなというくらいです。すばらしい空間です。少子高齢化対策についてはいろいろな評価をいただきました。特に児童福祉、少子化対策については国からも注目されており、この面でもいろいろな所から取材があります。

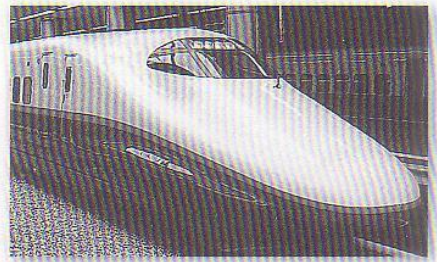
取材は環境ばかりではありません。今視察ラッシュと言ったら大げさかもしれませんが、各分野でいろいろな方たちで、本当にたくさんの方々が全国からお越しいただいております。

## ■近くなる上越

今年が高田市・直江津市が合併して30周年を迎えました。飛鳥クルージングをはじめ約60項目にわたる記念イベントを開催します。皆様ぜひご参加ください。

また注目の新幹線も富山までフ

ル規格で4月25日に認可がおりました。建設のための環境、財源等も含めて順調にいけば上越市まで10年以内には完成できるのではと思います。



▲北陸新幹線イメージ

路が開通しましたがそれよりも更に30キロ短くなります。駅についても直江津駅を市民の税金できれいにづくり替えさせていただきました。自由通路は見掛けは駅ですが、中味は市の道路ですのでお使いいただければありがたいと思います。コンセプトは港・海・船と、飛鳥の船をモチーフにしています。全国でもこういった形は直江津駅だけだと思います。

直江津港の開発についても順調に運んでおり、来年から3年間にわたって埋め立てをします。3年後に火力発電所の建設がはじまります。火力発電所ができませんと税金がたつぷりと、かどうか別にして、金の卵を産む鶏と想っているわけです。鶏を3羽つくりまします。(1号2号3号)19年の7月頃に1号機が運転開始する予定です。直江津の発電所ではLNGという液化天然ガスを使いますが、これが今一番注目されており、まづづくりにかせない大事業が順調に運んでいることを申し上げます。地方高規格道路(高速道路並みの一般道路)を上越から六日町の間につくりはじめていますが、いよいよ上越市内においても用地買収にはいります。東京から250キロで上越に着きます。上越越高速道

次は高田駅です。駅のメインの出入り口もちよつとしゃれた城下町風にしました。平成雁木というちよつと変わった雁木もつくりました。どこか違った駅に降りたのじゃないかという感じがするくらい、評判のいい駅です。まだ全部完成しておりませんが、東京駅を少しモチーフにしてつくりました。三つ屋根やステンドグラスでおしゃれな駅になっています。

また小林古徑邸を東京から移築、復元いたしました。秋には特別展



▲小林古徑邸 (高田公園内)

が開催されます。これは特別展ですから、美術館とかいろいろな方々のご協力をいただいて素晴らしい作品を一堂に会して、全国にPRしていきます。

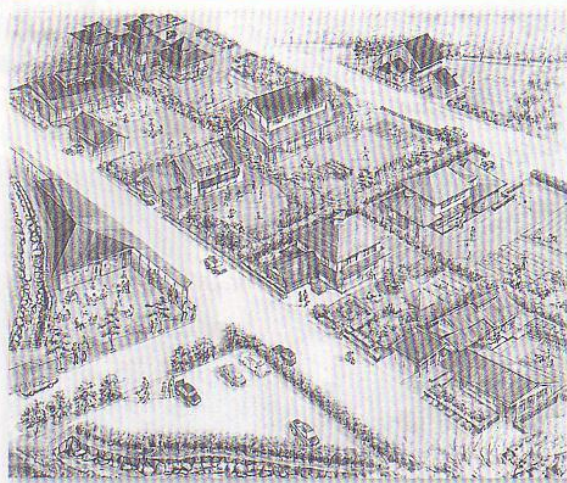
### ■21世紀の3つの柱

21世紀のまちづくりの基本として私達は「ヒューマン都市」、「農都市」、「生活快適都市」の3つを掲げています。

「ヒューマン都市」。人に着目したバリアフリーのまち、あるいは少子高齢化や福祉についてしっかりと支えていくセーフティネットシステムをどうつくるかということ、生きていく諸条件をきちっとして整えていくこと、もちろん環境問題もそうです。

「農都市」。これはこれからの上越の街づくりとして特徴づけていこうと思っています。世界的にも食料は将来非常に不安があり、それには農都市、すなわち農的、農業的機能、農的空間と都市的空間を合わせたバランスのとれた、調和のとれたまち、これが持続的発展あるいは循環型社会を形成する一つのヒントになるのではないかと考えました。ヨーロッパはまさにそうです。江戸時代的な地方分権型社会、コミュニティが地域エリアごとに清潔型になっていまま。自給自足ということ。食べ物はもちろん、都市機能として

の自給自足、機能充足、こういったものを合わせもったバランスのとれた都市をつくっていくことが持続的に社会が推移していくということではないかと思えます。昨年の3月に農都市条例をつくりました。その具体的な例として、アーバンビレッジというものをつくっています。57区画、約6ヘクタ



▲アーバンビレッジ (横曽根)

「生活快適都市」。どなたも健康で文化的な生活を営めるような交流の場、産業、文化、福祉、教育など、いろんな都市的機能を持ちそなえた都市をつくっていくというものです。そのためには人口が、20万人でない理想的な町にはならないと思っております。まだまだたくさん土地もありますし、いろんな空間もありますから特にJネットの方々に優先的に情報を提供させていただき、移住いただき一生を楽しく健康にお暮らしいただくことを期待申し上げます。

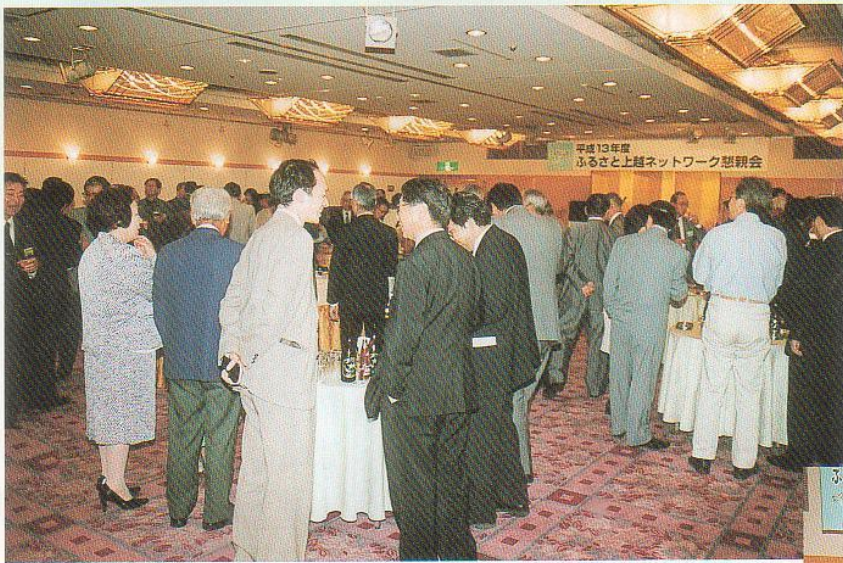
### ■共にパートナーシップを

Jネットの皆様方のこの故郷を離れてがんばっているお姿をみて、私共奮い立つものがありますし、また皆様方が何か期待を持てるようなものをやるうというがんばりの根拠がJネットの存在にもあります。Jネットに加入されればそれでいいのではなく、共に良きパートナーシップということで故郷の発展のために力を合わせて進めていきたいなと思っております。

ールのところを住環境整備で整備されていますが、57区画全部売れました。優良田園住宅建設促進法という新しい法律が一昨年できましたが、その第一号指定地です。そろそろ都会生活が退屈されている方は是非2号地、3号地をつくりたいと思えます。

# ふるさと上越ネットワーク懇親会

■とき/平成13年5月26日(土) ■ところ/アルカディア市ヶ谷(18:00~)



平成13年度ふるさと上越ネットワーク総会終了後、懇親会が同会場で開催されました。新任の尾崎宗秀副会長の挨拶のあと、野口春雄新相談役のご発声で乾杯、懇談に入りました。  
恒例の各コーナーのほか、今回は特に笹寿司に人気が集まりました。スペシャルゲストとして地元出身ジャズシンガー丸山繁雄さんらの演奏もあり、参加者は楽しい一時を過ごしました。

ここに来れば誰かに会えるんじゃないかと思うよ。



▲野口新相談役の発声で乾杯ー！

## 平成13年度ふるさと上越ネットワーク懇親会



▲運営委員の皆さん 左から…藤沢勝一郎さん、内山貢さん、関根咲子さん、小野塚い子さん、金沢一男さん、澤カツ子さん、

古沢 信さん▶



縦だけでなく、横のつながりで会える人もいるね。

濁川寿次さん▶

◀小森一郎さん



妻が会員で、私は初参加です。

学校の同窓会とは違い、先輩後輩の枠がなく、いいですね。



▲高橋正武さん

こんなコーナーがありました



◀ふるさと・パンフレット



◀謙信汁のつべ汁



◀人気集中ー笹寿司



◀地酒・岩の原ワイン



◀丸山繁雄さんCD販売



◀ふるさと美術展コーナー

# ふるさとへの思い 熱く語って



土曜日の会合で  
よかった!

▲滝本貞一さん

今までは仕事と  
子育てで精一杯だった  
けど、これからは  
Jネットにも参加  
できそう♥



▲金子敦子さん



2杯目よ!

謙信汁  
おいしい!

▲安間ミサオさん、今藤ミヨさん

## おめでとうございます! ふるさと抽選会



生まれて初めて  
抽選に当たりました

▲早川美津江さん

いろんな年代、  
職業の方々がいていい  
会ですね。今日は思い  
がけず父の友人という  
方に会いました。



▲長谷川和子さん

### ★★★★豪華な抽選会賞品★★★★

- ★岩の原ワインセット ……5人
- ★雁木通り米5Kg ……4人
- ★くわどり湯ったり村宿泊券 ……2人
- ★くわどり湯ったり村利用券 ……1人
- ★正善寺工房オリジナル商品 ……1人
- ★国立能楽堂  
「婆相天」観覧チケット ……1人



▲抽選会



### 出席者全員へのおみやげ

- ★S&Bカレー  
(エスピーガーリック食品(株)様より)
- ★こんぶ野沢菜  
(JAえちご上越様より)

## Special Guest

Jazz Singer 丸山 繁雄さん



上越市出身でジャズシンガーの丸山繁雄さんがスペシャルゲストとして参加。矢代川と妙高山を思い描いて作った「山の便り」もご披露いただきました。

### <プロフィール>

1951年上越市(旧高田市脇野田)生まれ。  
高田高校卒業後、早稲田大学第一文学部在学中より、モダンジャズ研究会にて、ボーカル・インプロビゼーションを指向。都内ジャズクラブにて演奏を開始。

# 思い出の風景は今

会員から寄せられた  
“心に残る原風景の今”  
をご紹介します。あなた  
の“原風景”を教えてください。

## 神秘の虫生の海

さいたま市在住

安藤 三郎 (東本町3出身)

昭和17年7月19日の日記には虫生(郷津)で栄螺取りをしたとある。級友・斉藤君と10時から2時まで泳ぎ続け、栄螺の重みで泳ぎを止めると沈むのである。もう止めようと岸に上がったが重くて歩けなかった。海藻が揺らぎ深い所は紫がかっていて何か恐くて始めは潜れなかった。今もあの海は若き我らの夏であったと話し合っている。

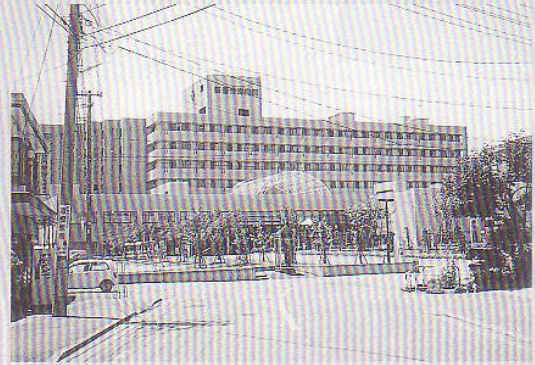


▲虫生(郷津)付近は、現在も上越を代表する海水浴場として市民に親しまれています。

## 労災病院

京都府向日市在住

森田 英子(東雲町出身)



▲平成8年に全面改築し、立派な鉄筋7階建ての基幹病院として、市民を病気から守っています。

労災病院は、我が家の周りでは唯一の大きな建物で、近寄りたいたい存在だった。1965年9月18日早朝、台風24号の雨で床下浸水の状態になった私たち一家は、そこへ避難した。その時はここまで来れば安心という思いにひたることのできた。私の今の勤務地・京都府亀岡市に、あの24号台風が水害をもたらしていたことを最近知った。40年ほど前に、私は亀岡市民と同じ傷みを分かち合っていたのだ。あの労災病院に救われてこそ、そのことを感ずることのできる今の私があると思う。

## はつらつグループ紹介 ⑦ 直江津高校同窓会関東支部

～同窓会などの活躍の様子をお伝えしていきます～

### 直江津高校同窓会 関東支部の活躍



複雑な歴史をもつ県立直江津実業高校と県立直江津女子高等学校とが、戦後の教育改革の中で総合高校として、普通科、商業科、農業科、家庭科、工業科その他分校を併設して県立直江津高校として発足した。

昭和25年の私たち普通科志望者は極端な小学区制のため、直江津高校へ進学と定められていた。

女学校に入ることに一抹の不安があった。まだ敗戦の貧しさの中であり、その上、実質的な第一回生という環境で何もなかったし、教えてくれる先輩もなく受験勉強の仕方さえ手探りだった。しかしそこには自由があり希望があった。無から創造する特権があった。みんな自分たちが頑張れば世の中が良くなるのだという確信と希望に溢れていた。

あれから半世紀、日本がたどった道を振り返る時、不平もいわずに頑張った我々世代の責任について考えたりする今頃である。

直江津同窓会関東支部は戦前からの伝統を引き継ぎ、今日でも毎年、総会・懇親会を開いている。最近、同窓生のうちから各界で活躍している人を選び、短時間ではあるがお話をうかがい、先輩、後輩の活動ぶりに新しい刺激を受けている。

昭和28年卒 藤沢市在住 保坂康夫(八幡・現西本町3出身)

皆様のお宅まで  
ふるさとを  
お伝えします。

講読料  
2,575円(郵送料込)

日刊 **上越タイムス**

☎ 0120-17-4243

※日、お宅に届きます。

上越を読む

月刊 上越エリア情報誌

**シブ**

TEL 0255-24-4275 FAX 0255-24-4451

美味しさ、楽しさいっぱい  
岩の原葡萄園の夏!

★ワイン&バーベキュー開催中(10月28日まで)  
★醸造途中のワイン『ベルレ』(10月末まで)

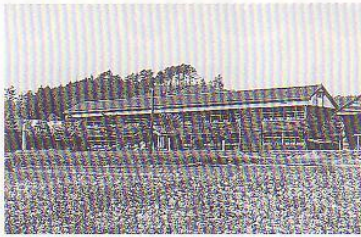
株式会社 **岩の原葡萄園**

TEL 0255-28-4002 新潟県上越市北方1223番地  
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

会の運営に  
ご協力いただいている  
**特別賛助会員**  
の方々です。

# 母校は今

## 旧春日中学校



▲旧中学校

上越市のシンボルに春日山と上杉謙信公がある。その春日山の麓に春日村立春日中学があった。昭和二十五年から三年間、木田から通学した。当時、高志、春日、五智そして金谷正善寺地区の小学校卒業生が学んだ。

当時、近くの大手池、秋葉神社に遊び、春日山神社の階段、林泉寺の惣門などをスケッチした。毎年仲秋の名月には春日山頂の月見会で森本文四郎校長先生が「鞭声肅々」と詩吟を詠いじて、謙信公の偉業を語り、郷土の誇りを少年の心に焼きつけてくれた。また当時は中学を卒業すれば大半が実社会に旅だったので、体育の時間に佐渡おけさの踊りを教えてもらった。お陰で東京や県外で、宴会の隠し芸披露に郷土のおけさを踊ることができた。



▲現在の学校跡地(埋蔵文化財センター建設中)

春日村と高田・直江津の合併に伴い通学区が変更となり、旧春日中学が廃校となった。

その後、職業訓練校になり、今はその跡地が更地になっているという。

だが、現上越市役所が木田に建てられ、春日地区は市街化開発と整備が急激に進み、行政、文化など上越の中心になった。それらに伴い人口集積となりJR春日山駅西北に、昭和五十八年に城北及び直江津中学の分離校として新たな春日中学校が開校された。今は旧中学の校舎もなく伝統も途絶えてしまっていると思うが、郷土の誇りと伝統がわが母校となっている。当時の春日中学と名前が同じなので懐かしくなった。ますますの発展と心豊かな人材の輩出を願うものである。

昭和28年卒 松本市在住  
遠藤弥市郎(不田)2出身

## 城西中学校

城西中学校は昭和40年春に、旧高田市内の金谷・和田・三郷の三中学校が統合のちに、城南中学校の一部もして誕生しました。初めの2年間は名目統合で授業は各校舎分散で行われていましたが、昭和42年に新校舎の半分ができ、名実共に城西中学校がスタートしました。

入学したのはその翌年で、完成したばかりの真新しい広い体育館で入学式が行われました。

思い出の一つに、生徒玄関の壁に大きく掲げられた校章があります。入学式で初めて目にし、中学生になったことを実感した印象深いもので、その後3年間学生帽の正面も飾っていました。校章は統合当時の全校生徒から募集した作品から選ばれたもので、円は「和を」、三つの三角形は「協力」で金谷・和田・三郷を意味し、輪郭は「West」のイニシャルを組み合わせたものでした。

在校した3年間はまさに城西中学校の草創期でした。それはまた村山卓治校長先生の思い出に繋がります。先生は短軀でしたが、声はよく響き、いつも体からエネルギーが発散してとてもおおきな人に見えました。学業でもスポーツでも『常に一番をめざせ』と叱咤激励されて、新しい城西中学校の

歴史をつくっていくと全力を傾けておられました。また、「啐啄」(職員玄関の正面に飾られていた)、「進発」、「宝在心」という言葉をさかんにお話の中に使われていたことを昨日のように思い出します。

現在では、少子化で各学年とも5〜6クラスに減ってはいますが、全国の中学校が「荒れた」時期も大過なく乗り切り、今では文武両道で高成績を納めていると聞きます。草創期の先生達や学校運営に協力してきた父母会、さらに私たち卒業生の喜びとすべきことではないかと思えます。

学区内に新しい高速道路も開通し、10年程度で新幹線も通ると聞きます。環境がどのように変わろうとも、後輩達には永々と受け継がれている質実剛健な城西魂を持ちつづけて欲しいと思います。

城西中学校の益々の発展を、ふるさとを遠く離れた鳥取の地で祈っています。

昭和46年卒 米子市在住  
水澤 清昭(脇野田出身)



▲現在の城西中学校

**感動創造**  
FUKUDA CORPORATION

**株式会社 福田組**  
代表取締役副社長 菅 隆  
営業本部長 菅 隆

東京本社  
〒162-8411 東京都新宿区市谷本村町3-26  
TEL 03-3269-4711 FAX 03-5261-5387

平成13年秋 高田郵便局が  
新しく生まれ変わります。

新館舎完成図

**高田郵便局**  
局長 桐生 重俊

上越市リフレッシュビル事業 キーワードは 自然・食・健康・癒しです

スキー・乗鞍地「金谷山」のランドマークレストラン

**ヨーデル金谷** 新潟県オーストリアのヨーロッパテイストはいは、「カジュアル・インフ」スタイルのレストラン  
上越高田ICそば  
TEL(0255)23-0681

**正善寺工房** 上越市の特産品加工販売・加工体験施設の貸出とイベントの開催  
TEL(0255)23-0627

プナの森に抱かれた、静寂の温泉・宿泊エリア

**くわどり湯ったり村** 上越市の温泉  
温泉 料金(大人500円 小学生300円)  
宿泊 1泊2食/大人 8,000円〜 小学生 6,000円〜  
TEL(0255)41-2611 FAX(0255)41-2616

管理/運営  
リフレ上越 山里振興株式会社

**JAえちご上越**

「だれもが安心して暮らせる地域づくり」それが「JAえちご上越」の願いです。

豊かな自然と、暮らしの安全な環境を、私たちが誇りに思っています。

地域のため 皆様のため ぐらし応援します

**JAえちご上越農業協同組合**  
〒943-0817 新潟県上越市藤巻5番30号  
TEL0255-27-2001 FAX0255-27-2009  
代表理事組合長 柳澤 武治

**Jネットふるさと交流会参加者募集** ～今年は初秋のふるさとを訪れます～



- 日 時…平成13年9月29日(土)～30日(日) 1泊2日
- 参加費…お一人様 20,000円  
(往復バス、宿泊費、食事代込)
- 宿 泊…くわどり湯ったり村
- 締 切…8月31日
- 定 員…先着50名様まで

- 日 程
- 29日(土) 8:30発 新宿駅西口朝日生命ビル前—小林古径展見学—記念植樹—風力発電施設見学—くわどり湯ったり村 宿泊17:30着
- 30日(日) 市民の森散策—くわどり湯ったり村朝市開催—米と謎の酒蔵—新宿駅西口朝日生命ビル前19:00着

■ 桜の記念植樹をします  
Jネットの名前で高田公園内に桜を2本植樹します。桜には記念プレートがつけられJネットの足跡をふるさとに刻みます。



**30周年記念事業にJネットも参加しています**

『上越市政30周年記念事業検討委員会』が設けられ、Jネットの太田会長が委員の委嘱を受けられました。委員会には会長の代理として松川副会長が出席され、松川さんが業務の関係で時間が取れない場合に私が参加してまいりました。太田会長をはじめ我々民間人が検討会に参加する以上、事業の採算性や事業としての位置付けを明確にし、市民に分かりやすいプランとして提示すべきことを主張してきました。この点について、私達が委員会で色々発言したことが他の委員を刺激し

色々な発言が出るようになりました。委員会の活性化に大いに寄与したのではないかと思っています。また、Jネットとしてのアイディアもいくつか出しており、このうち「謙信の塩づくり」は、8月5日(日)に谷浜海岸の中央部に設置した炎天下の塩田で80名を超える参加者で行われました。出来上がった塩の白さとその味わいが、謙信があがっていました。日本海に沈む夕日を眺めながら、「謙信の塩を升にのせて『地酒』を味わうのもまた格別では…」

理事 和久井 博

**■ 会員募集のお知らせ**

Jネットも5年目を迎え、これからますます充実した活動を行うためにも、より多くの方にネットワークに参加してもらう必要があります。ぜひ、みなさんのご親戚やご友人などにJネットをご紹介します。

**■ 住所が変わった方はお知らせください**

転居により住所が変更された場合は、新住所を事務局までお知らせください。(電話、FAX、E-mailでも結構です)

**■ みなさんの声をお聞かせください**

ふるさとへ寄せる思いや思い出など皆さんからのお便りをお待ちしています。またJネットの運営に対するご意見、ご要望もあわせて募集しています。

**東京で食べられるふるさとの味**



ラーメン「オーモリ」

東京都東大和市奈良橋5-7-27  
(西武拝島線東大和市駅より西武バス  
(長田寺行き)東大和一小下車すぐ前)  
電話：042-566-2628  
営業時間 午前11時～午後10時頃  
（スリーブなくなり次第終了）  
（休憩時間 午後3時～午後5時30分）

店の名前を聞いてピンときた人もたくさんいるでしょう。上越出身者なら一度は耳にしたことがあるというほど有名なお店。ラーメン「オーモリ」の暖簾分けしたお店です。南本町2丁目出身のご主人保坂恵則さんと、大島村出身の奥さんヨシエさんが3年前に開店。ふるさとのラーメン店「オーモリ」の味が忘れられないご主人が帰省してその門を叩いて修業し、暖簾分けを許されました。「全国ふるさとラーメン紀行」にも選ばれた人気のお店です。麺は上越直送の「オーモリ」の麺、調味料も新潟産の醤油を使用している



ます。ふるさとのラーメンが食べたい人はぜひご賞味してください。  
■「ご主人から会員のみなさんへメッセージ」  
「上越出身のお客さんもたくさん見えます。みなさんもぜひ一度お越しください。」

ふるさと上越の味が味わえるお店がありましたらぜひ紹介してください。

**上越市食料、農業、農村等政策審議会委員として**

市では、概ね10年先を見通した「食料自給率の向上」と「農地の有効利用」を目標とした、農業政策の基本計画（農都市条例）を作成するため「上越市食料、農業、農村等政策審議会」を設置しました。都市消費者の意見を聞く目的で、Jネットから松川副会長と私が委嘱され、審議会に参加しています。12年度、市長への答申の審議を経て3月30日に農都市条例は制定されました。

この条例は、地域内の自給を基本とし、有機栽培を中心とした安全な食料の

安定的な供給のもと、都市機能と農村が持つ自然環境が調和するまちづくりを目指しています。すなわち、21世紀における食料、農業、農村に関する施策の基本方針となるものです。

このように、ふるさとから離れた今でも、ふるさとのまちづくりに参加できたことは、大変有意義なことだと感じました。10年後のふるさとがどのようなふうになっていくのか、また一つふるさとへ帰る楽しみが増えました。

運営委員 澤 カツ子

**編集後記**

編集会議は、上越市東京事務所の会議室で毎回開かれます。窓外には日比谷図書館が見下ろされます。目を右に転ずると鬱蒼と茂った日比谷公園の樹々が連なり木陰のベンチでは多くの人達が涼を求めて休憩しています。この暑さで、都会のギャング・カラスも葉陰に潜んでるようです。今号の総会時の写真は、努めて、初めての方々に登場してもらいました。来年は、是非貴方も写真版で会員の皆様にアピールして載せたいと思います。

猛暑の折、会員皆様のご自愛の程お祈り申し上げます。  
編集委員 内山 貢